



国島 征二



杉本 たけ子



伊藤 勝彦



平松 聰志



前田 正剛



筒井 淳文



近藤 なつみ



唐澤 萌

岡崎信用金庫資料館竣工100周年記念事業

山里アート

in 岡崎信用金庫資料館

入館料無料

岡崎の水源に位置し、乙川の源流部にある千万町楽校(旧千万町小学校)で好評を博した「山里アートin 千万町楽校」その出展作家の作品展が、岡崎都心部の岡崎信用金庫資料館で開催されます。

2018年2月3日(土)～2月28日(水)

2月4日(日)13時 セレモニー ～作家による作品紹介～

会場：岡崎信用金庫資料館

開館時間：10時～17時(入館16時30分まで)

休館日：月・祝祭日は休館日

主催：千万町・木下ふるさとづくり委員会、じさんじょの会

後援：岡崎市・岡崎市教育委員会・中日新聞社・東海愛知新聞社

協賛：岡崎信用金庫

岡崎信用金庫資料館

〒444-0038 岡崎市伝馬通 1-58

TEL：0564-24-2367

[交通] 名鉄本線 東岡崎駅 徒歩約10分
名鉄バス 籠田公園前下車 徒歩約2分

山里アート

額田の山里に根ざし、アートの力を活かしたふるとづくりという思いを込めて、「山里アートin 千万町楽校」は始まりました。

今回は、千万町楽校での山里アートに出展した作家の作品展が、岡崎都心部の岡崎信用金庫資料館での開催されます。岡崎市額田地区在住の8人の作家による作品展です。ぜひ足をお運びください。



岡崎市木下町在住

彫刻 国島 征二

長いアメリカ大都市での生活(ニューヨーク、ロサンゼルス)から、180度の違いを感じる岡崎山間部での生活を始めて20年。この山中から発信する私のアート作品は日本各地での発表はもとより、アメリカはじめオーストラリア、ドイツ、オランダなどヨーロッパ、タイなどアジア諸国での展示会は今もつづいている。

ともすれば情報過多な都会生活より、個になり、アートを考え、制作し発信、発表できることによる喜びを感じる毎日である。この豊かな自然のこの場所で、自然とかかわり対話することは、作品作りの為の発想、その制作の原点となっていると思うのである。



岡崎市鹿勝川町在住

陶芸 杉本 たけ子

県立瀬戸窯業高校陶芸専攻科で陶芸を学び、2000年に鹿勝川町に築窯しました。

私の作品の多くに白化粧土を使っています。白い色とは私にとって純粹、無垢な色として捉えているのですが、これは私の目指す原始的な(プリミティブ)シンプルな作品を表現するのに必要であります。

そして今、自分が好奇心から経験する全てのものから生まれ、作りだされた作品を通して、人々と共感し、繋がっていきたくと望みます。
*白化粧土: 白色粘土を水に溶いて、泥状にしてから赤土にかけたり、塗ったりします。

✉ moegitakechan@yahoo.co.jp



岡崎市木下町在住

陶芸 伊藤 勝彦

瀬戸市赤津町で陶芸を学び、平成10年に「緑」豊かな木下町に家族4人で移住・築窯しました。

つくるという行為の中で、どこまで自分が表現できるか、少しでもいいなと思える作品がつかれるか日々模索しています。

その中でも木下・千万町の豊かな自然の中の木々の「緑」を写したかのような織部釉の美しさに惹かれ、それを生かす形態と釉色と釉調の調和を意識して作っています。

今、織部の「緑」に、新たに「碧」「赤」「黒」の色を加え制作しています。



岡崎市宮崎町在住

陶芸 前田 正剛

愛知県立芸術大学陶磁専攻で学び、自然豊かな額田地区に築窯し、草花を中心に陶器に絵付けをしています。

里山に暮らしておりますと季節の移り変わりに、健気に生きる草木や虫、野鳥などから毎回見聞きぬ多くの感動をもらいます。

そして時に天候の厳しさに否応無く自然に活かされているのだと痛感させられることもあります。

そんなつましくも力強く、そして誰にも理不尽に厳しく、平等に優しい自然からいただいたお裾分けを丁寧に拾い集めて、なんとか作品に活かさないものかと日々研鑽しております。

☎ <http://www.mics.ne.jp/~studio-muddy/>



岡崎市千万町在住

名ま絵のえふみ 筒井 淳文

2009年からパステルと筆で、名前の詩【名ま絵のえふみ】を贈りはじめ、神代文字や幾何学模様などもの創りにとりいれ、言葉と色と形の力を表現し、チラシ・名刺・看板など各種デザインもさせていただいています。

2010年 自然豊かな千万町に移り住み、豊かな自然の中、土にふれ、なるべく自分たちで創りだす暮らしを紡ぎ、その暮らしから感じるものをもとに、ひとり一人の名前が喜ぶように、みなさんのイノチが輝きますようにと想いをこめて、贈らせていただいています。

みなさんとつながるご縁にありがとうございます∞

☎ <https://ameblo.jp/tsucchan0417/>



岡崎市石原町在住

リサイクルアート 平松 聰志

もともと、美術やアートに興味がありませんでした。きっかけは、整備士になる10数年前。自動車の構造を勉強をするためエンジンを分解しました。その時初めてピストンを見ました。見ていると何となくピストンが人間の顔に見えたので、試しに手足をつけたのが始まりでした。始めは手と足を無造作につけた人形でした。人間に近づけたいと思い、独自で数年かけて技術を習得しました。その後、テーマ性を考えるようになり徐々に今の形になっていきました。

心癒される普段の風景をテーマに昔日、家族愛、友情、絆を感じられる作品。今ある、あたたかいふれあいを形にしたいと思い廃物を集め、外に出ては人とふれあい、日々制作しております。

☎ 0564-83-2315



岡崎市千万町在住

染織 唐澤 萌

千万町へ移住してくる以前は、京都の染め工房で植物染めを学んでいました。今まで染料となる植物は染料店で刻まれてパックされたものを買うことがほとんどだったので、その植物がどんな場所にどんな姿で生育しているのかを情けないことにあまり知りませんでした。

今は、地域の方々に教えていただく中で、染料植物の自生している場所、収穫できる時期などが少しずつわかるようになり、毎日、漫然と通り過ぎていた山里の風景が、意味を持って目に映ってくるようになりました。新しい植物染めの魅力を、この土地とこの土地の人々に教えていただいています。

✉ moyu@atelier-moyu.com



岡崎市宮崎町在住

手紡ぎ・原始織 近藤 なつみ

羊毛から糸を紡ぎ、原始的な織機で織物を制作しています。

こつこつ、地道に…が大好きで、一枚の織物を完成させるまでに、

ゆっくりじっくり作品と向き合いながら、のんびりとした時間を詰め込む気持ちで日々制作に取り組んでいます。

羊毛という素材が持つ、優しさや温もりを感じて頂けたら幸いです。

✉ skapontan723@yahoo.co.jp

千万町楽校(ぜまんじょうがっこう)とは、閉校した旧岡崎市立千万町小学校跡地です。千万町(ぜまんじょう)・木下(きくだし)の山里の宝を活かした、夢と希望あふれるふるとづくりの拠点です。地域のコミュニティーセンターであるとともに、ジビエBBQ・餅つき体験・山の小さな音楽会・野外ジャズ・ひな人形展など、市民のみなさんとの交流の場として活用されています。

千万町楽校

〒444-3432 愛知県岡崎市千万町町字宮西 8

☎ <http://zemanjogakko.kirara.st/>

☎ 問い合わせ: 090-7687-7855 (荻野)

